

前回定例会以降の動き

平成29年10月4日

新潟県防災局原子力安全対策課

1 安全協定に基づく状況確認

- 9月13日、柏崎市、刈羽村とともに、発電所の月例の状況確認を実施しました。

[主な確認内容]

- ・放射線監視用小型船舶（新規基準の対象設備。事故で周辺海域への放射性物質の漏えいが確認された場合に、周辺海域の放射線量率の測定や海水のサンプリングを行う。）の運用方法等を確認しました。
- ・地上式フィルタベント設備について、工事の進捗状況を確認しました。

2 新潟県原子力発電所事故による健康と生活への影響に関する検証委員会及び健康分科会・生活分科会の開催

9月11日、第1回新潟県原子力発電所事故による健康と生活への影響に関する検証委員会（以下「健康・生活委員会」という。）及び健康分科会・生活分科会を開催しました。健康・生活委員会では、委員長等を選任し、検証の進め方等について議論しました。健康分科会では、座長等を選任し、検証の進め方等について議論しました。また、生活分科会では、座長等を選任し、避難生活調査等について議論しました。

3 新潟県原子力災害時の避難方法に関する検証委員会の開催

9月19日に、第1回新潟県原子力災害時の避難方法に関する検証委員会を開催し、委員長等を選任し、検証の進め方等について議論しました。

※原発事故に関する3つの検証のホームページを設置しました。

<http://www.pref.niigata.lg.jp/genshiryoku/1356877564383.html>

4 その他

9月6日：報道発表 [～北朝鮮核実験による放射能対応（第5報）～大気中のちり等から人工放射性物質は検出されませんでした]

※北朝鮮核実験による放射能対応（第6報）～（第11報）は添付省略

9月13日：報道発表 [～北朝鮮核実験による放射能対応（第12報・最終報）～大気中のちり等から人工放射性物質は検出されませんでした]

9月12日：報道発表 [「新潟県原子力災害時の避難方法に関する検証委員会」を開催します]

9月14日：報道発表 [東京電力から福島原発事故に伴う損害賠償額の一部支払いを受けました。]

10月4日：報道発表 [柏崎刈羽原子力発電所の審査書案了承についての知事コメント]

平成 29 年 9 月 6 日
防 災 局

～北朝鮮核実験による放射能対応（第5報）～
大気中のちり等から人工放射性物質は検出されませんでした

9月4日午前9時頃から9月5日午前9時頃までに県内7箇所^(※)で採取した全ての大気中のちり（大気浮遊じん）及び9月4日午後3時頃から9月5日午後3時頃までに新潟市西区で採取した雨水等からは、人工放射性物質は検出されませんでした。

測定結果は、別紙のとおりです。

(※)新潟市、新発田市、燕市、長岡市、南魚沼市、上越市、佐渡市

本日午前9時までに採取した大気中のちり及び本日午後3時までに採取した雨水等に含まれる放射能の測定値を、明日午前11時を目処にお知らせします。

また、9月6日午前10時現在、県内の放射線の測定結果は通常の値です。

【大気浮遊じん・雨水等】

○新潟県防災ポータル 北朝鮮核実験関連

<http://www.bousai.pref.niigata.jp/contents/3063/index.html>

【空間放射線量率】

○新潟県 放射線モニタリング結果

<http://housyasen.pref.niigata.lg.jp/>

本件についてのお問い合わせ先
原子力安全対策課放射能対策室長 葉葺
(内線) 6460
(直通) 025-282-1693

お知らせ

大気浮遊じん等に含まれる放射能の測定状況

防 災 局
平成29年9月6日

<大気浮遊じん>

- 1 採取期間 9月4日午前9時頃 ～ 9月5日午前9時頃
- 2 検査方法 県内7箇所では採取した大気中のちりを、県放射線監視センターで測定しました。
- 3 測定結果

採取場所	人工放射性物質 (Bq/m ³)
新潟市西区曾和（放射線監視センター新潟分室）	検出されず
新発田市豊町（新発田地域振興局）	検出されず
燕市白山町（大気汚染測定局）	検出されず
長岡市沖田（長岡地域振興局健康福祉環境部）	検出されず
南魚沼市六日町（南魚沼地域振興局健康福祉環境部）	検出されず
上越市春日山町（上越地域振興局健康福祉環境部）	検出されず
佐渡市相川二町目（佐渡地域振興局）	検出されず

【検出下限値：約0.0001Bq/m³（セシウム137）】

<雨水等>

- 1 採取期間 9月4日午後3時頃 ～ 9月5日午後3時頃
- 2 検査方法 新潟市西区で採取した雨水等を、県放射線監視センターで測定しました。
- 3 測定結果

採取場所	人工放射性物質 (Bq/m ²)
新潟市西区曾和(放射線監視センター新潟分室)	検出されず

※ 雨水等は、確認された人工放射性物質毎の結果を公表します。

人工放射性物質が確認されない場合は、「検出されず」となります。

【測定値の単位について】

- ・ Bq (ベクレル) とは、放射能を表す単位で、1ベクレルでは1秒間に1個の原子核が崩壊し、放射線を放出します。

平成 29 年 9 月 12 日
防災局原子力安全対策課

「新潟県原子力災害時の避難方法に関する検証委員会」を開催します

第 1 回「新潟県原子力災害時の避難方法に関する検証委員会」を下記のとおり開催します。

記

1 日 時

平成 29 年 9 月 19 日(火) 午後 3 時 10 分から午後 5 時 00 分頃まで

2 場 所

新潟県自治会館本館 1 階 講堂（新潟市中央区新光町 4 番地 1）

3 議題等

委員長等の選任、検証の進め方等について

※冒頭に知事からの挨拶があります（挨拶終了後、退席）。

4 会議の公開

会議は公開で行い、一般の傍聴者の定員は 50 名（先着順）です。

また、会場には、別途、記者席を設けます。

5 取材の受付

取材の受け付けは、当日の午後 2 時 30 分からです。会議の取材を希望する方は、所属する報道機関の発行する腕章がある場合はそれを持参し、会議開始前に会場の受付で所属名、職名及び氏名を記入してから入場してください。所属する報道機関の発行する腕章がない場合は、受付で報道関係者腕章の交付が受けられます。

また、会議終了後、委員長がぶら下がり取材を受け付けます。カメラ等での撮影は、係員の指示に従ってください。

本件についてのお問い合わせ先
原子力安全対策課長 須貝
(直通)025-282-1690 (内線)6450

平成 29 年 9 月 13 日
防 災 局

～北朝鮮核実験による放射能対応（第12報・最終報）～
大気中のちり等から人工放射性物質は検出されませんでした

9月11日午前9時頃から9月12日午前9時頃までに県内7箇所^(※)で採取した全ての大気中のちり（大気浮遊じん）及び9月11日午後3時頃から9月12日午後3時頃までに新潟市西区で採取した雨水等からは、人工放射性物質は検出されませんでした。

測定結果は、別紙のとおりです。

(※)新潟市、新発田市、燕市、長岡市、南魚沼市、上越市、佐渡市
また、9月13日午前10時現在、県内の放射線の測定結果は通常値です。

これまでの大気中のちり及び雨水等からは人工放射性物質は検出されず、空間放射線量率でも異常は確認されていません。

また、原子力規制庁から、9月12日をもって、北朝鮮の核実験対応として実施していたモニタリングを通常体制に戻すとの連絡がありました。

これらの状況を踏まえ、県では、北朝鮮の核実験の実施を受けて行ってきた放射能測定などの公表を本第12報をもって終了します。

なお、今後は、県内1ヶ所（新潟市）で大気中のちり及び雨水等の通常の測定で監視を継続してまいります。

モニタリングポストによる空間線量率の測定結果など、県が監視している測定結果で、異常があった場合は速やかに公表します。

これまでの測定結果や県内の空間放射線量率の値については、下記ホームページをご覧ください。

【大気浮遊じん・雨水等】

○新潟県防災ポータル 北朝鮮核実験関連

<http://www.bousai.pref.niigata.jp/contents/3063/index.html>

【空間放射線量率】

○新潟県 放射線モニタリング結果

<http://housyasen.pref.niigata.lg.jp/>

本件についてのお問い合わせ先
原子力安全広報監 伊藤
(内線) 6451
(直通) 025-282-1694

お知らせ

大気浮遊じん等に含まれる放射能の測定状況

防 災 局
平成29年9月13日

<大気浮遊じん>

- 採取期間 9月11日午前9時頃 ～ 9月12日午前9時頃
- 検査方法 県内7箇所採取した大気中のちりを、県放射線監視センターで測定しました。
- 測定結果

採取場所	人工放射性物質 (Bq/m ³)
新潟市西区曾和(放射線監視センター新潟分室)	検出されず
新発田市豊町(新発田地域振興局)	検出されず
燕市白山町(大気汚染測定局)	検出されず
長岡市沖田(長岡地域振興局健康福祉環境部)	検出されず
南魚沼市六日町(南魚沼地域振興局健康福祉環境部)	検出されず
上越市春日山町(上越地域振興局健康福祉環境部)	検出されず
佐渡市相川二町目(佐渡地域振興局)	検出されず

【検出下限値：約0.0001Bq/m³(セシウム137)】

<雨水等>

- 採取期間 9月11日午後3時頃 ～ 9月12日午後3時頃
- 検査方法 新潟市西区で採取した雨水等を、県放射線監視センターで測定しました。
- 測定結果

採取場所	人工放射性物質 (Bq/m ²)
新潟市西区曾和(放射線監視センター新潟分室)	検出されず

※ 雨水等は、確認された人工放射性物質毎の結果を公表します。

人工放射性物質が確認されない場合は、「検出されず」となります。

【測定値の単位について】

- ・ Bq(ベクレル)とは、放射能を表す単位で、1ベクレルでは1秒間に1個の原子核が崩壊し、放射線を放出します。

東京電力から福島原発事故に伴う損害賠償額の一部支払いを受けました

本日、県が東京電力ホールディングス(株)に請求している福島原発事故に伴う損害賠償額について、一部支払いを受けましたのでお知らせします。残りの請求額については、協議を継続中です。

1 今回の受領額【受領回数：全体で42回目(平成29年度は、3回目)】

4,504,563円(平成29年9月14日受領)

※平成26年度発生経費(一般会計分)請求額の一部

2 受領額の内容

避難者支援費用等

3 その他

(1) 請求及び受領の状況

(単位:円)

発生年度	請求日	区分	請求額	今回受領額	受領額累計	備考
H22・23	①H24.12.26 ②H25.3.29	一般会計	364,653,719	-	310,322,121	
	①H24.12.26 ②H25.3.29	工業用水道	391,587,383	-	382,814,716	
	H24.12.26	流域下水道	5,073,703	-	5,073,703	
		小計	761,314,805	-	698,210,540	
H24	①H25.12.3 ②H26.9.18	一般会計	275,570,716	-	165,539,131	
	H25.10.24	工業用水道	580,922,144	-	579,960,603	
	H25.10.24	流域下水道	1,139,775	-	1,139,775	
		小計	857,632,635	-	746,639,509	
H25	①H26.9.18 ②H27.10.21	一般会計	253,094,870	-	113,639,405	
	H26.9.18	工業用水道	239,161,758	-	237,649,716	
	H26.9.18	流域下水道	844,410	-	844,410	
		小計	493,101,038	-	352,133,531	
H26	H27.10.21	一般会計	237,806,660	4,504,563	108,703,409	
	H27.10.21	工業用水道	107,676,748	-	106,287,085	
	H27.10.21	流域下水道	786,564	-	786,564	
		小計	346,269,972	4,504,563	215,777,058	
H27	H28.9.30	一般会計	204,666,203	-	7,228,320	
	H28.9.30	工業用水道	142,352,985	-	141,384,187	
	H28.9.30	流域下水道	778,140	-	778,140	
		小計	347,797,328	-	149,390,647	
		合 計	2,806,115,778	4,504,563	2,162,151,285	

(2) 今後費用の発生等が確認できたものについて順次請求します。

本件についてのお問い合わせ先
 原子力安全対策課 課長補佐 小島
 (直通) 025-282-1702 (内線) 6461

平成29年10月4日

防 災 局

柏崎刈羽原子力発電所の審査書案了承についての知事コメント

本日、原子力規制委員会が柏崎刈羽原子力発電所6、7号機が新規制基準に適合しているとする審査書案を了承しました。

原子力規制委員会の判断であり、現時点では、その判断について県として特段のコメントはありませんが、柏崎刈羽原子力発電所の安全性を確保するため、まずは、今回の適合性審査の結果について説明を求めるとともに、今後審査結果について検証してまいりたいと考えております。

なお、福島第一原発事故の原因の徹底的な検証、原発事故が私たちの健康と生活に及ぼす影響の徹底的な検証、そして万一原発事故が起こった場合の安全な避難方法の徹底的な検証の3つの検証がなされない限り、再稼働の議論は始められないと考えており、3つの検証を進めてまいります。

本件についてのお問い合わせ先

原子力安全対策課長 須貝

(直通) 025-282-1690 (内線) 6450